| 学校番号 | 1011 |
|---|---|

# 令和８年度　学 国際教養

| 教科 | 学 国際教養 | 科目 | (学) 日本語Ⅰ | 単位数 | ４単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」により入学した生徒を対象とし、日常生活に必要な日本語（生活言語）及び高校における強化学習に必要な日本語（学習言語）の能力を養い向上を目指します。
・日本語の語彙については、実際のコミュニケーションのなかでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。つねに「日本語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は、外国語学習のなかでとても大切な練習のひとつです。日本語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人に伝わるように心がけましょう。

2　学習の到達目標

・読み書き、文法、語彙、長文読解等の学習を通して、日本の文化や習慣に対する認識を深め、日本語でのコミュニケーション能力が身についている。
・日本の習慣を理解した上で、場面に応じた対応ができるようになる。

（１）　コミュニケーションと文章を読むために必要な語彙力を身に付ける。
　　読みの理解を深めるために必要な項目（文法、接続語、指示語）を身に付ける。
（２）　得た知識を活用して適切に自分の意見や考えを日本語で表現したり伝えあったりしている。
（３）　学んだ語彙や表現、文法、言語の働きなどの知識を活かして、主体的、自律的に日本語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・日本語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能をみにつけている。<br>・日本の文化や習慣に対する認識を深める。 | ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、日本語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に自分の意見や考えを日本語で表現したり伝えあったりしている。 | ・日本語の学習を通して、日本語の背景にある文化や歴史に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に日本語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 自己の表現 | 初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせしたりする。 | a: 必要な漢字・語句、また文法について理解している。<br>b: 相手に伝わるような表現を意識して書いたり話したりしている。<br>c: 相手に正確に伝えるということを意識している。 | 定期考査<br>ノート | 定期考査<br>ノート | ワーク<br>シート |
| | 相手との会話 | お店やレストランで友達と商品やメニューについて話したり、お店の人と話しながら買い物したりすることができる。 | a: 必要な漢字・語句、また文法について理解している。<br>b: 相手に伝わるような表現を意識して書いたり話したりしている。<br>c: 相手に正確に伝えるということを意識している。 | 定期考査<br>ノート | 定期考査<br>ノート<br>会話練習 | 振り返り<br>シート<br>会話練習 |
| 2 | 相手への説明 | 自分の目標や計画を話したり進路の参考のために周りの人から話を聞いたりすることができる。 | a: 必要な漢字・語句、また文法について理解している。<br>b: 相手に伝わるような表現を意識して書いたり話したりしている。<br>c: 相手に正確に伝えるということを意識している。 | 定期考査<br>ノート | 定期考査<br>ノート<br>会話練習 | ワーク<br>シート<br>会話練習 |
| | 第三者との会話 | 日本の生活を楽しむために住んでいる町の情報を教え合って、その情報をもとに行動することができる。 | a: 必要な漢字・語句、また文法について理解している。<br>b: 相手に伝わるような表現を意識して書いたり話したりしている。<br>c: 相手に正確に伝えるということを意識している。 | 定期考査<br>ノート | 定期考査<br>ノート<br>会話練習 | 振り返り<br>シート<br>会話練習 |
| 3 | 第三者への説明 | 周りからいろいろな情報を得たり、自分の希望を伝えたりして、満足のいく食事や買い物をすることができる。 | a: 必要な漢字・語句、また文法について理解している。<br>b: 相手に伝わるような表現を意識して書いたり話したりしている。<br>c: 相手に正確に伝えるということを意識している。 | 定期考査<br>ノート | 定期考査<br>ノート<br>会話練習 | ワーク<br>シート<br>会話練習 |
| | 一年のまとめ | これからの自分にとって有意義な過ごし方を考えて、周りの人と生活の工夫や時間の使い方などの情報をやりとりすることができる。 | a: 必要な漢字・語句、また文法について理解している。<br>b: 相手に伝わるような表現を意識して書いたり話したりしている。<br>c: 相手に正確に伝えるということを意識している。 | 定期考査<br>ノート | 定期考査<br>ノート<br>会話練習 | 振り返り<br>シート<br>会話練習 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度